

徳和住民協議会 News vol.9



徳和住民協議会(徳和地区市民センター内)

〒 515-0041 松阪市上川町 263-3

tel 20-1100 e-mail: itkoza26@mctv.ne.jp

第 17 回徳和公民館文化祭が盛大に開催されました



10月23日(日)、文化祭当日は晴天にも恵まれ屋外では「遊休品・農作物即売会・つきたてもち・うどんボン菓子・ポップコーン」の販売を「バルーンと落書きコーナー」「向野園物品販売」をさせて頂きました。館内の大会議室では各クラブさんの「芸能発表会」を開催し和室、廊下では「作品展示」をいたしました。たくさんの方に来て頂きありがとうございました。来年は皆様にもっと喜んでいただければ嬉しいです。私たちも頑張りますので是非ともきてくださいね。

神戸神館神明社のいわれ(宮司 大和哲司 鎮座地 松阪市下村町 1791-1 番地)

当神社は、約 2000 年の歴史があります。その起源として『皇太神宮儀式帳』によれば垂仁天皇の時代、天照大神を奉じた倭姫命が当地に来たり、飯高の県造(あがたのみやつこ)であった乙加豆知から神田と神戸を進まつられ飯野高宮を造営したことを記し、『倭姫命世記』でも同様に、垂仁天皇 22 年条に倭姫命が飯野高宮(飯野高丘宮とも記す)で 4 年間大神を奉じた際に、飯高の県造の祖、乙加豆知命から神田と神戸を進まつられた事を記しています。以来伊勢の神宮に供祭料を貢納して来たが、明治 39 年の『神社明細帳』によれば、それら供祭料を収納するために神館を建て、神戸司を設置して神戸内の政事を管掌させるとともに、神明社を奉斎したのが起源であり、旧神戸の村民によって造替を重ねて来た社であるという。また昭和 27 年の『神社明細書』によれば、弘和 2 年(1382 年)に北畠顕泰から高 4 石の神領が寄進され、これは江戸時代にも紀伊藩によって踏襲されて来たが、明治維新で廃せられたという。なお、境内の池には藺が生育し、江戸時代まではこれを採って筵を作り、毎年伊勢の神宮に奉納していたという。明治の初めに「神館神明社」と改称、村社に列しました。本殿は神明造。その他拝殿や社務所があり、境内社に明治維新から大東亜戦争までの戦没者の英霊を祀る霊社があります。

御祭神

天照皇大神宮御霊(皇大神宮(内宮)の御霊、天照大神)

豊受大神宮御霊(豊受大神宮(外宮)の御霊、豊受大神)

御杖代大倭姫命(倭姫命)

乙加豆知命(おとかつちのみこと)



徳和小学校の「昔の遊び」をサポートしました

10月28日に徳和小学校1年生のみなさんと「昔の遊び体験」をおこないました。「徳和安全見守り隊」などでお世話になっている地域のサポーターのみなさんにお声かけをしたところ、30名のみなさんに参加していただきました。

こままわし、ふくわらい、おはじき、けんだま、缶ぽっくり、紙風船、だるまおとし、おてだま、あやとり、紙芝居と10のあそびの体験サポーターになりました。



子どもたちは準備の授業からずっとこの日を楽しみにしてきたそうです。

体験のあとは子どもたちから「おじいさんは、こまが上手ですごいと思いました。」

「あやとりがたのしかったです。」「とってもたのしかったので、またあそんでほしいです。」と元気いっぱいので発表してもらいました。

また、サポーターのみなさんからも「子どもたちに元気をもらった。」「1年でこの日が楽しみ」とお声を聴かせていただきました。

世代をこえてのふれあいの時間を大切にしながら、今後も子どもたちへの支援を続けていきたいと思ひます。

高田交友会が「小さな親切運動」善行者表彰を受賞されました



今年も、高田交友会のみなさんにお世話になり、5年生が稲作体験を行いました。「田植え」「草取り」「かかしづくり」「稲刈り」そして、最後に「収穫祭（もちつき）」すべての体験が、ほとんどの子ども達にとって初体験。交友会のみなさまの手取足取りのサポートに最初はおそるおそるの子ども達も、自然に笑顔に。米作りには、多くの苦勞や喜びがありますが、その一端に触れさせていただくことで、自然の恵みに感謝し「命」を大切に人になってくれることを願っています。子ども達の学びを豊かにしていただき、本当にありがとうございました。（徳和小学校より）

平成29年度4月スタート「徳和安全見守り隊」サポーター募集！

来年度も徳和小学校の子ども登下校を見守る「徳和安全見守り隊」の活動をします。徳和の地域サポーターを募集します。1月末日までに、徳和住民協議会、自治会長、徳和小学校のいずれかへお申し込みください。みなさまのご参加をお待ちしております。